

食品安全情報（化学物質） No. 13/ 2022（2022.06.22）別添

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部 第三室
(<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

世界食品安全デー関連記事

- 国連食糧農業機関（FAO : Food and Agriculture Organization of the United Nations）
<http://www.fao.org/>

1. Codex

- 世界食品安全デー 2022年6月7日

WORLD FOOD SAFETY DAY - 7 JUNE 2022

<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/world-food-safety-day/en/>

2022年世界食品安全デーの専用サイト。

- WHO と FAO が Zoom で第4回世界食品安全デーを祝う

WHO and FAO celebrate the fourth annual World Food Safety Day on Zoom

07/06/2022

<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1538623/>

WHO の Tedros Adhanom Ghebreyesus 事務局長が、6月7日ウェビナーの開催の挨拶として、食品安全とより良い健康への尽力に感謝を述べ、WHO 食品安全のための世界戦略の更新版が承認されたことを伝えた。2022年5月末の世界保健総会において、食品由来下痢症の減少、サーベイランスの強化、協調を向上させるという具体的な目標を初めて掲げた。

FAO の QU Dongyu 事務局長はビデオメッセージで、食品安全が、我々の農業食料システムをより有効で、包括的かつ弾力的で、持続可能なものへと変革させると述べた。

WHO の栄養・食品安全部門長の Francesco Branca が司会を務めた、WHO の Naoko Yamamoto 氏と FAO の Dominique Burgeon 氏との対談において、Yamamoto 氏はヒトの健康と幸福には食品安全が必要であり、WHO は各国による強固で弾力的な食品安全システムの構築を支援していることを伝えるとともに、食品安全を維持するために政策決定者や事業者、教育機関がそれぞれに成せることを概説した。Burgeon 氏は、食品安全は食料安全保障の一部であり、世界食品安全デーは農業食料システムに携わり定期的に安全な食品

を届ける全ての人々を称賛する日であることを説明した。

4 人のパネルがサプライチェーンの様々な視点から食品安全の役割をそれぞれ伝えた。

セッションの結論として、Codex の Tom Heilandt 事務局長が、我々は常に警戒し、食品が安全であるよう努め、食品による病気は決して普通のことではないことを改めて認識すべきであるとのメッセージを伝えた。

● 世界食品安全デー：議長が食品システムの変革を呼び掛ける

World Food safety Day / Codex Chairperson calls for the transformation of food systems

07/06/2022

<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1538561/>

2022 年の世界食品安全デーに関する祝賀行事が行われる中、Codex 議長の Steve Wearne 氏は「Codex での我々の使命は、世界中の全ての人を保護する食品の安全性と品質の規格基準を策定するために、世界中の人々が団結するということである」と述べた。さらに、副議長であるケニアの Allan Azegele 氏、ニュージーランドの Raj Rajasekar 氏、チリの Diego Varela 氏も世界食品安全デーを祝し、食品安全について話をした。

60 年前の設立以降、Codex は健康保護と貿易のための国際食品規格の策定を通じて多大なる役割を果たしてきた。Codex の作業は今後、気候変動、食品システムの変革、そして持続可能性の考慮を背景に、食料安全保障を確保するという課題にともなう世界的な取組にとって益々重要になるだろう。

一緒に 2022 年世界食品安全デーを祝おう！そして持続的な変化を起こしていこう！

● FAO と WHO の食品安全の専門家がソーシャルメディアで神話を暴く

FAO and WHO food safety experts debunk myths live on social media

06/06/2022

<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1538491/>

世界食品安全デーの一環として、WHO と FAO が共同で、Facebook、Twitter、YouTube においてライブの Q&A イベントを開催した。2022 年 6 月 6 日には、WHO の科学者である Simone Moraes Raszl 氏と Jeffrey LeJeune 氏、FAO 食品安全事務局が食品安全の事実を議論し、いくつかの一般的な神話を暴いた。

Facebook と Twitter では、食品安全を保つ方法を知りたいとの書き込みがあった。例えば、落とされた食品を 5 分以内であれば食べても良いのか、賞味期限を確認するときの考慮事項は何か、抗菌剤耐性は食品安全の問題なのか、といった質問である。

専門家らは、世界食品安全デーと今年のテーマの意義、主要な食品由来疾病とその原因及び健康影響について議論するとともに、新たに採択された WHO 食品安全のための世界戦

略 2022-2030、食品安全に関する今後の FAO 優先事項、Codex が採択した食品規格の重要性にも言及した。

●ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR : Bundesinstitut für Risikobewertung)
<http://www.bfr.bund.de/>

1. 現在、オンラインでも : BfR 世界食品安全年鑑

Now also online: The BfR World Food Safety Almanac

07.06.2022

https://www.bfr.bund.de/en/press_information/2022/21/now_also_online_the_bfr_world_food_safety_almanac-299439.html

「より安全な食品で、より健康に」: これは 2022 年 6 月 7 日の第 4 回世界食品安全デーのテーマである。ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) の世界食品安全年鑑がオンライン化されるには打ってつけの日である。オンライン版 BfR 世界年鑑は、食品及び飼料の安全性における各国の行政機構の概要を提供する。特に課題は、近年の食品の選択の複雑さである。BfR 所長の Dr. Dr. Andreas Hensel 教授は、「複雑なグローバルサプライチェーンに沿った我々の食品及び飼料の安全性は、常に保証されなければならない。BfR 世界年鑑は、国際協力をより容易にすることで、この問題に重要な貢献をしている。」と述べる。

この年鑑はまた、既存の手法の統一を支援し、努力の重複を避けることも目的としている。結局、食品と飼料の安全性は、国や組織間の緊密な協力を伴う国際的なアプローチによってのみ保証することができる。

現在、37 カ国が「世界食品安全年鑑」に掲載されている。このプロジェクトは、今後さらに拡大され、さまざまな大陸の国々が含まれるようになる予定である。オンライン形式のため、各国は自国のプロファイルにアクセスすることができ、常に更新する責任を負う。

BfR のオンライン年鑑はこちらから :

World Food Safety Almanac

https://worldfoodsafetyalmanac.bfr.berlin/index.php?title=Main_Page

国連は、安全な食品の重要性について認識を高めるため、2018 年に「世界食品安全デー」を開始した。WHO によると、毎年、世界の 10 人に 1 人が食品由来疾患で倒れ、最悪の場合、命にかかわり、すべての国に影響を及ぼしている。

●アイルランド食品安全局 (FSAI : Food Safety Authority of Ireland)
<http://www.fsai.ie/index.asp>

1. 約 3 分の 2 が、不適切な食品や劣悪な衛生管理に関する苦情の伝え方を知らない

Almost Two Thirds Unaware How to Make a Complaint about Unfit Food or Poor Hygiene Practices

Tuesday, 7 June 2022

https://www.fsai.ie/news_centre/press_releases/world_food_safety_day_07062022.html

調査によると、アイルランドの成人のほぼ 3 分の 2 (61%) が、不適当な食品や不衛生な管理について当局への苦情の提出方法を知らないことがわかった。

アイルランド食品安全局 (FSAI) は世界食品安全デーに合わせ、新たなキャンペーン「See Something, Say Something」を開始する。このキャンペーンはいくつかのビデオを含む強固なオンライン・プレゼンスによって支えられており、消費者が食品の購入時や外食時に不適当な食品や不衛生な行為を経験した場合に、苦情を申し出るよう促している。FSAI のウェブサイトからオンラインで、簡単なフォームに入力するだけで通報できる。

● 米国食品医薬品局 (FDA : Food and Drug Administration) <http://www.fda.gov/>,

1. FDA は世界食品安全デー2022 を記念する

FDA Marks World Food Safety Day 2022

June 7, 2022

<https://www.fda.gov/food/cfsan-constituent-updates/fda-marks-world-food-safety-day-2022>

本日 6 月 7 日は世界食品安全デーであり、今年のテーマは 「より安全な食品で、より健康に」 である。FDA の世界食品安全デーの専用サイトでは、この世界的な取り組みに参加する方法と、食品由来疾病から自分と家族を守る方法に関する情報を提供する。

FDA 副長官 Frank Yiannas 氏は、WHO の食品安全に関するヘルストークに参加し、"Bending the Curve of Foodborne Illness in a Digital World "というテーマで食品システムのデジタル化の重要性と FDA の取り組みについて講演を行った。

* FDA の世界食品安全デー専用サイト

<https://www.fda.gov/food/consumers/world-food-safety-day>

* 講演内容

<https://www.fda.gov/news-events/speeches-fda-officials/remarks-fda-deputy-commissioner-frank-yiannas-world-food-safety-day-2022-world-health-organizations>

● 米国農務省 (USDA : Department of Agriculture)

<http://www.usda.gov/wps/portal/usdahome>

1. 世界食品安全デーは世界の健康脅威にスポットライト

World Food Safety Day Spotlights Global Health Threat

Jun 07, 2022

<https://www.usda.gov/media/blog/2022/06/07/world-food-safety-day-spotlights-global-health-threat>

WHOによると、毎年、世界中で6億人が食品由来の感染症にかかり、42万人が死亡している。しかし、食中毒は防げるものである。国連は4年前、6月7日を「世界食品安全デー」と定め、各国が食中毒対策への意識を高めることを奨励した。今年のテーマは「より安全な食品で、より健康に」である。

米国農務省 (USDA) は食肉、鶏肉、卵製品の安全性を保証する一方で、食中毒を防ぐために食品を安全に取り扱う方法に関する情報も提供している。食品安全を実施するためのツールを紹介する：

- USDAの食品安全への4ステップ：食品安全の基本
<https://www.fsis.usda.gov/food-safety/safe-food-handling-and-preparation/food-safety-basics/steps-keep-food-safe>
- もうできた？：安全な内部温度を記載した無料のキッチンマグネットの申し込み
fsis.outreach@usda.gov
- 食品保存：食品・飲料の保存方法を解説し、製品の鮮度や品質を最大限に高めるアプリのダウンロードサイト
<https://www.foodsafety.gov/keep/foodkeeperapp/index.html>

● カナダ食品検査庁 (CFIA : Canadian Food Inspection Agency)

<http://www.inspection.gc.ca/english/toce.shtml>

1. 2022年「世界食品安全デー」Duclos大臣の声明

Statement from Minister Duclos on World Food Safety Day 2022

June 7, 2022

<https://www.canada.ca/en/food-inspection-agency/news/2022/06/statement-from-minister-bibeau-and-minister-duclos-on-world-food-safety-day-2022.html>

今年のテーマ「より安全な食品で、より健康に」は、食品の安全を守るために我々全員が

果たすべき役割があると、カナダ国民に 2022 年の世界食品安全デーを呼び掛ける。

<食品安全のためにあなたができること>

- 最新の食品リコールやアレルギー警告の情報を入手する。登録すればメールで受け取ることもできる。
- 最新の食品安全検査報告書を確認し、産業界が連邦政府の食品安全要件を満たしていることを検証する。
- 農業・農産品セクターの求人情報を見してみる。
- 食品の洗浄、分別、加熱調理、冷却のコツを知る。
- 政府が提供しているビデオ教材で子供たちに安全な調理習慣を教え、食品安全を家族の問題とする。

● ニュージーランド第一次産業省 (MPI : Ministry of Primary Industry)

<http://www.mpi.govt.nz/>

1. 食の安全を守る人々を称える時

A time to celebrate the people who keep our food safe

Date: 07 June 2022

<https://www.mpi.govt.nz/news/media-releases/a-time-to-celebrate-the-people-who-keep-our-food-safe/>

ニュージーランド食品安全副局長の Vincent Arbuckle 氏は、世界食品安全デー (2022 年 6 月 7 日) は、食品の安全を守るために日々努力している何千人ものニュージーランド人を称える良い機会だと述べる。

この国では、食べ物で病気になることはないと思われているが、こうした期待はどの国でも享受できるものではない。我々は、数十年にわたる改善を通じて、効果的な食品安全システムを総合的に、かつ意図的に構築してきた。この特別な日に、このシステムを機能させている人々を称えよう。

食品化学物質情報

連絡先：安全情報部第三室